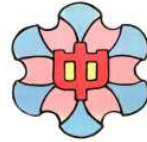


学校教育目標
自ら輝け 夢をつかめ
～笑顔・感動 はつらつ植水～

学校だより

瑞穂



令和5年度12月号
令和5年12月1日
さいたま市立植水中学校
HP uemizu-j@saitama-city.ed.jp

剪定（せんてい）

校長 山口 聡



朝の冷え込みが日に日に厳しくなり、生徒の姿も手袋やマフラーなどの防寒着が見られるようになり、本格的に冬がやってきたことを登校の姿からも感じられます。寒暖差が大きい季節ですので体調管理に気を付け元気に登校して欲しいと思います。

学校にはたくさんの樹木が植えられています。職員室の前には柿の木があり、柿の実をついばみに鳥がたくさん来て、たいへんにぎやかな感じでした。去年は柿の実がつかなかったもので、その違いに驚いています。ご存じの方も多いと思いますが柿や柑橘類などは隔年で実の付きが大きく違います。その樹木の性質であり、どうして隔年であるかについてははっきりとした理由はよくわかっていないようです。そのため果樹栽培農家の方や毎年収穫をされている方々は樹木に対して様々な手入れを行っています。その手入れの中で大切なものとして樹木の剪定があります。来年に実を付ける枝を見極め、実を付けるのに不要な枝を落としていきます。適切な剪定を行うことで毎年安定した収穫を得ることができるのだそうです。我が家にも柿やみかんの木があるので、剪定について勉強してチャレンジしてみようと思いました。

1・2年生は昨日で期末テストが終わり、これから返却が始まります。テストの結果から2学期の学習で理解できていたところや足りなかった点をよく確認しましょう。柿やみかんの実をとった後の樹木の手入れが大切なように、テスト後の復習が次の成果につながります。しっかりと復習に取り組んでほしいと思います。